議題４：障がい者の採用試験について（西尾市提出）

市名	回答
豊　橋　市	試験内容は事務職枠と同様で行っている。なお、受験方法については状況に応じてできる範囲での配慮を行っている。 視覚障害者：拡大鏡、ルーペ等の持ち込み（本人持参） 聴覚障害者：筆談による面接、文書による適性検査
岡　崎　市	身体障がい者対象の試験の受験資格を活字印刷文による出題及び口頭試問に対応できる人としており、試験内容等において特段の配慮は実施していない。
一　宮　市	障がい者採用試験については、一般の事務職とは別枠で筆記試験と面接試験を行っています。例えば視覚障害者に対して点字や拡大コピーによる対応などは行っておりませんが、聴覚障害者に対しては、試験開始前の説明を文面で配布し、面接試験を筆談で実施するなどの配慮をしました。
瀬　戸　市	採用試験の受験資格として、自力通勤及び介護者なしで職務遂行が可能であることを必要としています。 受験申込者には、個別に配慮すべき事項があるかを確認し、必要に応じて対応しています。
半　田　市	障がい者枠の試験については、基本的に他の職種と同様の内容で行っています。 聴覚障害者が受験した際は、試験の指示を筆談で示す等の対応をしました。 また、試験において特段の配慮が必要な場合は、受付時に申し出るよう要項に記載しています。
春 日 井 市	障がい者枠の募集要件として、「口頭試問及び活字印刷による出題」に耐えられることを設けている。 ただし昨年度、重度の聴覚障害がある者が受験した時は、試験官の指示内容を事前にプリントアウトし、試験官の読み上げるタイミングにあわせ別の職員が読み上げている内容が記載された部分を指示するなどの配慮を行った。
豊　川　市	本市でも採用試験において障害者枠を設けており、試験内容については、1次試験で個人面接、書類審査、教養試験、適正検査を行い、2次試験で個人面接、作文試験を実施しています（事務職は、1次試験で個人面接ではなく集団面接を行い、2次試験で集団討論も行います）。 上記のとおり、試験内容は事務職と似ていますが、障害の状態等を確認する必要があるため、面接において他受験者が同席しないような配慮をしています。その他、受験者の障害の状況に応じて会場での配席等に配慮をしています。
津　島　市	基本は事務職枠と同様ですが、集団面接は除外しています。また体力試験も可能な科目のみ行ってもらうこととしています。（体力試験は廃止予定）
碧　南　市	試験内容は他の事務職枠と同様の試験を実施している。 受験資格で以下の条件を求めている以外、特段の配慮をしている事項はない。 ＜資格条件＞ 自力で通勤および介助者なしで職務遂行可能で、活字印刷文による出題及び口頭試問に対応可能な者
刈　谷　市	本市におきましても、障害者枠の採用試験を実施しておりますが、試験内容につきましては、他の事務職と同様、Ａ日程においては自己ＰＲ試験と面接試験等、Ｂ日程においては教養試験と面接試験等を実施しています。 試験時においては、受験者の障害の症状等に応じて、必要があれば個別の対応をすることになると思われますが、近年では例はありません。
豊　田　市	試験の際に配慮してほしい事項について、申込みの段階で聞取りを行っていますが、、点字や手話等、試験の配慮はしていません。 障害者の雇用の促進等に関する法律や障害者差別解消法など、社会的な動きの中で、試験実施方法等障がい者への配慮について検討していくべきと考えています。
安　城　市	本市も事務職で障害者枠を設けているが、西尾市と同様に一般事務職と同様の試験内容を課している。今のところ特別な配慮はしていないが、試験申込者が少ないため、何らかの対策は必要と感じている。

市名	回答
西　尾　市	＜提案市＞
蒲　郡　市	特別な配慮はしておらず、事務職と同様の試験を実施をしております。
犬　山　市	障害者枠での募集は過去に行っていますが、筆記試験及び面接等で、特段配慮をした点はありませんでした。 しかしながら、今後は、国から「雇用の分野における障害者と障害者でない者との均等な機会若しくは待遇の確保又は障害者である労働者の有する能力の有効な発揮の支障となっている事情を改善するために事業主が講ずべき措置に関する指針」が示されたこともあり、受験に際しての適切な配慮ができるよう進める必要があると考えます。 厚生労働省が、５月を目途に、差別禁止指針及び合理的配慮指針に係る解釈等を示した通達、事例集等を発出予定としていますので、その内容も参考としていきます。
常　滑　市	本市においては、ここ数年障がい者枠の採用試験を実施していません。
江　南　市	昨年度、事務職で身体障害者を２名募集したが応募はなかった。 試験内容等は一般の事務職と同様で、特段の配慮はしていない。
小　牧　市	特記すべき配慮事項はないが、試験会場の配置場所などは障がいの状況に応じて対応している。
稲　沢　市	事務職枠と同様としており、特段の配慮はしていない。
新　城　市	採用時に障害者枠を設けていますが、筆記試験や面接試験において特段配慮は行っていないことから、試験会場や面接といった場面では、一般枠受験者に混じって受験しています。
東　海　市	障がい者の採用試験については、別枠の取り扱いになっているものの、試験内容については事務職と同様に筆記試験及び面接試験を実施しています。
大　府　市	一般行政職と同様に筆記試験及び面接試験等を実施しています。なお、車いす等を使用する場合は、事前に相談してもらい必要に応じて会場等の配慮を行っています。
知　多　市	本市におきましては、事務職と同様に①一般教養試験（択一式）、②論文試験、③適性検査、④面接を実施しています。
知　立　市	知立市においても、障がい者枠での試験実施を行っておりますが、事務職の試験と同内容で行っており、特段の配慮は基本的に行っておりませんが、（障がい者の申込み条件として、介助なしでの勤務可能を条件としているため）聴覚障がい者の試験実施については、面接時にパネルを用意、また筆記試験の開始・終了を知らせるために、介助者をつける等の措置を行う事はあります。
尾 張 旭 市	本市では、障がい者採用試験においては、教養試験を高卒程度のものにしています。 また、聴覚障害の受験者に対し、面接試験で筆談による補助者を配置するなど、障害の部位により他の受験者より不利になることがないよう配慮しています。
高　浜　市	当市では平成１９年度に実施した以降は障がい者の採用は行っておりません。また、試験に関しても特段の配慮は行っておりません。
岩　倉　市	現在、特段の配慮は行っていない。
豊　明　市	２６年度の採用試験においては、一次試験の筆記試験を免除している。
日　進　市	身体障害者の場合は、事務職と同様に筆記試験及び面接試験を行なっている。障害の内容により配慮が必要な場合は、別途検討します。知的障害者の場合は、筆記試験、面接のほかに簡単な実技試験を行ない作業能力を判定している。
田　原　市	本市においても、平成２０年度から事務職の身体障害者を対象とした採用試験を行っている。試験内容は、１次試験で教養試験及び作文試験を行い。２次試験で面接試験を行っている。一般事務職と試験内容が異なる点は、教養試験が４０題・２時間に対し、３０題（英語出題なし）・１時間３０分で行っている。
愛　西　市	当市では、障がい者の方の教養試験を高等学校卒程度の試験で実施している。また、障がいの程度を考慮し、耳が不自由な受験者の場合には、受験説明をスクリーンに投影して実施する配慮をした実績がある。
清　須　市	事務職と同じ試験を実施しており、特段の配慮は行っていません。

市名	回答
北名古屋市	本市においても、障がい者枠の試験（筆記試験及び面接試験）を行っております。試験内容に関しては、特段の配慮はしておりませんが、その方の障がい内容によって柔軟に対応したいと思っております。 なお、庁舎が古いため全館バリアフリー対応となっていない部分があることから、必要に応じて、その説明をしています。
弥　富　市	本市における障がい者枠（一般事務職）の採用試験については、１次試験における筆記試験（事務適正検査、一般性格診断検査、一般教養試験）は健常者と同様に行っています。２次試験については個別面接試験と作文試験及び集団討論試験を行っていますが、障がい者枠の方については集団討論試験を除外しています。
みよし市	事務職枠と同様に筆記試験と面接を行っておりますが、年齢要件については、事務職枠よりも拡大しております。
あ　ま　市	特段の配慮はしていません。
長久手市	ここ数年実施した試験の内容は、通常の一般事務職の試験と同内容である。